

Doc. No.: NR080218

2008年2月18日

久御山事業所にインクジェット技術を駆使したデジタル印刷のショールームを開設 ～ POD事業の拡大に向けたコミュニケーション拠点～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)は明日、印刷・製版機器の製品開発拠点である久御山事業所(京都府久世郡久御山町佐山新開地304-1)内に、インクジェット印刷装置をはじめとする印刷関連製品を一堂に集めた展示スペース「メディアスクエア京都」を開設します。

近年印刷業界では、多品種少量印刷へとニーズが大きく変革し、顧客一人一人にとって付加価値の高い印刷物の需要が急増すると見込まれ、必要なときに必要な部数だけを印刷するPOD(プリント・オン・デマンド)システムが急速に普及しています。米国の調査会社、インフォトレンズ社の今年のレポートによると、米国における紙メディアに対するPODの印刷出荷額は、2011年にはおよそ10兆円に拡大すると予測されています。そのため、PODを可能にするデジタル印刷機市場も年々成長を続けており、その中でもさまざまな産業や印刷分野への応用展開が実現できるインクジェット印刷装置には、大きな期待が寄せられています。

このような市場動向に対応するため当社は、インクジェット方式によるPODシステムの開発、製造への取り組みを積極的に推進。一般的な紙への印刷に加え、産業用やサインディスプレイ用など特殊印刷向けのデジタル印刷機をいち早く開発・製品化するなど、さまざまな分野の新たな印刷市場に対応できる製品を提供してきました。これらの取り組みをより一層強化するため、今回、当社久御山事業所内にコミュニケーションスペース「メディアスクエア京都」を開設。ショールームとしての機能に加え、データベース管理などの付帯サービスや、検査、後加工を含めた総合的なソリューションを提案する場として、また、世界中の顧客やベンダーの生の声を最短距離で製品開発部門にフィードバックするための重要拠点として、幅広く活用していきます。

当社は、長年培った印刷関連のコア技術を駆使するとともに、「メディアスクエア京都」の開設によってもたらされる効果を最大限に生かし、世界的な需要増加が見込まれるPOD装置事業において2011年に250億円の売り上げを目指します。そして、世界トップシェアを誇るCTP装置事業に加え、POD装置事業を一層推進し、印刷・製版業界におけるリーディングカンパニーとしての地位をより強固なものにしていきます。

<メディアスクエア京都の概要>

名称：メディアスクエア京都
所在地：京都府久世郡久御山町佐山新開地304-1 大日本スクリーン製造株式会社 久御山事業所内
延床面積：約700平方メートル
総費用：約7億円
営業開始：2008年2月19日

● メディアスクエア京都についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社
メディアスクエア京都・POD推進センター
Tel 0774-46-7935

● 本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目